

初詣サイクリングの案内

下記の要領で初詣サイクリングを行います。1年の計は元旦にあり、貴方も正月の朝のサイクリングに参加しましょう。

期 日 昭和58年1月1日
集 合 午前9時、川口駅東口
出 発 午前9時15分
帰 着 午後1時
主 管 県南支部
会 費 200円(サイクリング)
800円(懇親会費)

コース 川口→西新井橋→隅田山
多聞寺→白鬚神社→百花園→長
命寺→弘福寺→三囲神社→川口
(約32KM)

地 図 東京東北部、東京西北部
申込・連絡先 川口市栄町2-6-13
鶴谷憲三方 TEL 0482-52-5502
締 切 昭和58年12月27日(火)

※異常気象以外実施

※午後1時より新春懇親会を開催します。

川口市栄町2丁目会館
(TEL 0482-51-4203)

※どちらか一方の参加でもけっこうです。

年末懇親パーティー盛大に開催

昭和58年度年末懇親パーティーが県東支部の主管により、12月10日(土)春日部市の“吉乃”で開催され30名余りが参加した。

関口 章氏の司会で進められ、星野 清氏の挨拶につづいて杉山 弘氏の音頭で乾杯を行い宴会に入った。

協会顕彰規定にもとづき昭和58年度の表彰が行なわれた後、自己紹介、意見発表などもあり、和気あいまいのムードが夜遅くまで続いた。

〈表彰関係〉

功 勞 賞 藤本古則
優秀サイクリスト賞 築比地秀夫
サイクリスト特別賞 相原矩子
優秀グループ賞 レジャーDパー
ソンCC

感謝状 らくだCC、文教大CTC



（JCA・都道府県協会）

中央指導者講習 開催の案内

昭和58年度の中央指導者講習会は下記のとおり、来る59年1月29～31日（2泊3日）に静岡県日本生産性研修会館において、サイクリングの指導普及にあたる普及指導者を養成するため、各地方協会より推せんされた候補者を対象として開催します。

期日：昭和59年1月29日～31日（2泊3日）

会場：生産性研修会館

静岡県田方郡函南町平井1753-11
TEL. 05597-4-0311（代表）

定員：80名（北海道を除き各協会3名以内）

参加料：1人……3,000円

申込み締切：1月12日（厳守）までに、参加申込み書に必要事項記入の上、所属協会へ申込んで下さい。

参加資格：〔普及指導者コース〕

年齢25才以上で、2級リーダー以上の資格を有し下記に該当するもの。

- ①協会の運営ならびに諸行事の企画、実施に協力するもの。
- ②サイクリングクラブおよび同少年団等の指導にあたるもの。
- ③その他、各協会ならびにJCAが特に認めたもの。

講習内容：

(1)講義（予定）

- ①普及指導者の性格と任務
- ②サイクリング普及の社会的意義
- ③サイクリング用車の基礎知識
- ④ドロップハンドルとディレイラーについて

(2)研究協議

(3)小論文作成

(4)映画 '83世界選手権ほか

日程：

- 第1日 集合・受付（13:00～13:30）
講義・映画
- 第2日 実走（100km）研究協議
- 第3日 講義・小論文作成・解散

講師（予定）

- 長谷川 純三（京大大学教授）
青木 泰三（薫英女子短大教授）
鳥山 新一（JCA常任委員）
清水 庸之（ * ）
太宰 茂秀（ * ）
山本 貞夫（ * ）
有吉 一泰（ * ）
植原 郭（ * ）

その他：

- 会場へは講習会初日13:00に三島駅（北口）新幹線出口前に貸切バスを用意しますので申込書の欄に○印をつけること。なお、遅りも昼食後三島駅まで送ります。
- 参加者に対する補助
交通費…JCA規定による協会所在地よりの往復普通運賃を支給する。
宿泊費…講習期間中の宿泊費は主催者が負担する。
- 今回の講習は実走がありますので必ず自転車（ランプ、ベル、リフレクター装備のこと）を持ってくること。
- 初日の昼食は受付前にすませておくこと。

ブロック会議

58年度の関東甲信越ブロック会議が昭和59年1月18日～19日、新潟市の厚生年金会館で開催されます。

委員会報告

去る12月8日（木）6:30～青少年会第二階会議室において、常任理事会・指導委員会が開催された。

本年度の協会顕彰規定にもとずく表彰の審査、年末パーティーの運営、初詣サイクリング、中央指導者講習会受講者推薦、年度内事業の推進等について活発な審議が行なわれた。

○埼青連代表者会議

12月22日(木)浦和市の“別所”にて、埼青連の代表者会議が行なわれます。SCAからは、星野清氏と鶴谷憲三氏が出席の予定です。

“Attention”

年末年始の交通事故防止運動が展開されています。S58.12.10～S59.1.10までの1ヶ月間です。

*飲酒運転等無謀運転の防止、歩行者及び自転車利用者の事故防止、自転車利用者に対する交通安全指導の推進が重点目標となっています。我々サイクリストは交通事故防止のための啓蒙に積極的に取り組みましょう。

△インフォメーション△

東京都ユースホステルサイクリングクラブの富永昌紀君が11月13日(日)から秩父方面で行方不明になっています。当日の朝秩父で下車したまでの確認はとれていますが、その後の足取りはまったく不明です。心当りの方がありましたら下記まで連絡して下さい。

TEL 03-992-7150 富永

03-822-9221 野中

*特徴等 身長175cm 体重70kg
年令23才(早大生)がっちりした体格、服装(黄色のトレーナー、茶色のジャンパー、ベージュのユッカズボン、白地赤線入りのジョギングシューズ)、自転車等(トニー製濃紺メタリックのランドナーにレンガ色で前ブタ黄色のフロントバック装着)

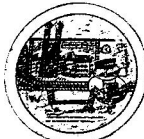
『海外派遣を終つて(その3)』

9.11 ホームステイのファミリーと別れ、バスはハイデルベルグへと向う。ハイデルベルグは古城と大学の町、古い町並みがすばらしい。ホテルに入ってひと休みしていると、ドヤドヤと入ってくる人達がいる。何んと日本のハッピーを着ているではないか?!

それもそのはずオデンワールドでお世話になったファミリーが訪ねてきたのだ。まるで夢のようだ。やはり別れるのがつらかったのだらう、夕食もそこそこに学生酒場にくり出す。再び友情の輪が広がりと、ビールを飲み、肩を組んで大声で歌うことの楽しいこと。なごりつきない時もあつと過ぎ、別れの時を迎える、こみあげる涙をおさえながら…Auf Wiedersehen(さよなら)をする。

9.12 ハイデルベルグを後にしてロマンチック街道をミュンヘンへと進む、ライン川沿いの景色は素晴らしい。岡の上の古城や町並みがとてもロマンチックに感じられる(街道の名の通りだ)。昼にはローデンプルグに到着する、この町も古く、家のたたずまいが何んともいえない。古風なレストランで食事をしてから名物の“からくり時計”を見物して、再び車中の人となる。ミュンヘンオリンピック会場(あの痛ましいテロ事件が思い出される。)を右に見ながらミュンヘンの町へ入る。ここでは3泊するので少しはのんびりできるだろう。

渡辺広次記



「会員紹介」

§コミュニケーション§



杉山 弘
浦和CC
会員番号 1548
協会副理事長

サイクリング歴) 父親とその友人の語る大正時代のレースや遠乗りの話で育ち、小学4年生の頃すでに仕入れに行く父にせがんで、都内を往復したのを始めとして、安行、平林寺を尋ねたり、戦後まもなくは狭山湖にも遊んだりした。県の青年団運動にも参加し、本格的サイクリングを知るに及び、その仲間と昭和28年頃から活動を始めると共に浦和CCを創立、SCCAの創立にも参画して以来、その役員として今日に到っている(抱負) 早い時期に、協会役職を若手にゆずり、その後は独りのサイクリストとして過したい。その台詞に私が今まで身につけたものを多くの人に役立てていきたい。

横顔(文責 鶴谷憲三)
ペレーが良く似あうサイクリスト、あの小柄な身でありながら脚力は人一倍強く、遊発力、反射神経の良さには敬服しています。体全体で覚えこんでいる賜物ではないかと思われまます。協会員、クラブ員に対して正しいサイクリングのやり方や、知識、判断力を指導してくれる時は、心身をなげうって指導をしてくるから、大いなる励みになる後輩を育てて呉れますことを願っています。体に十分気をつけ、今後の発展を祈ってやません。



「Hand in Hand のご案内」

日本ユニセフ協会が恒例のHand in Hand「100玉の大行進」の企画をしております。

これはアジア、アフリカ、中南米の子供達の自立の手助けをしようというものです。詳細はSCCAニュースVol-2・No. 8 (1982. 12. 15号)に掲載されています。

皆さんのご協力を期待します。

「事務局だより」

昭和58年12月25日～昭和59年

1月8日まで冬期休暇となります。なお協会事務局は、1月10日から開始します。

≪編集後記≫

早いもので昭和58年もあと20日で終ろうとしている。貴方にとってこの1年は、悔いのない年だったでしょうか、新しい年が希望にあふれた明るい年でありますことを祈っております。

ニュースもどうかこうにか毎月発行してきました。しかしこのニュースをどれだけの方が読んでいるのだろうか? 担当者が大変な思いをして発行していることを知って欲しい。多くの方にニュースが確実に届くことを願っている。

師走選挙は少し白け気味の感がないでもないが、我協会会長浜田氏も大奮闘中、会員諸氏のご声援をお願いします。